

ワースト1 (9年連続)

8,356万円 不納欠損額 9,228万円

決算特別委員会の 主な審議内容

● 一般会計歳入歳出決算

歳入総額4億9622万6千円、歳出総額が43億8969万2千円で、実質収支額が9506万3千円であり、平成20年度は降雪量が少なかつたため、財政調整基金等を取り崩すことなく、4000万円積み立てをすることができた。しかし、基金に頼らず予算編成するには、財政上後2、3年の辛抱が必要であり、引き続き厳しい財政運営が続くものと予想される。

問 毎年課題になっている滞納額ですが、専門家を入れた組織を作り、事案ごとに検討して指導する必要があるのでは。

答 昨年から県が中心となって検討委員会が協議しており、平成22年3月までには方向性が出ると思います。

問 滞納者も専門的知識を得ているので、特別委員会の立ち上げとか、何らかの措置が必要では。

答 委員会を立ち上げて、徴収につながるかは疑問に思います。案件ごとに対応していますが、生活実態が不透明な部分もありますので、議員の皆さんから、是非情報を提供願いたい。

意見 氏名を明らかにしても、わからないと、情報の提供はできません。

問 不納欠損処理した人の氏名を公表することはできないのですか。

答 一般に公表していません。

意見 社会的な制裁というところで、住民サービスの制限を広報等で出して欲しい。

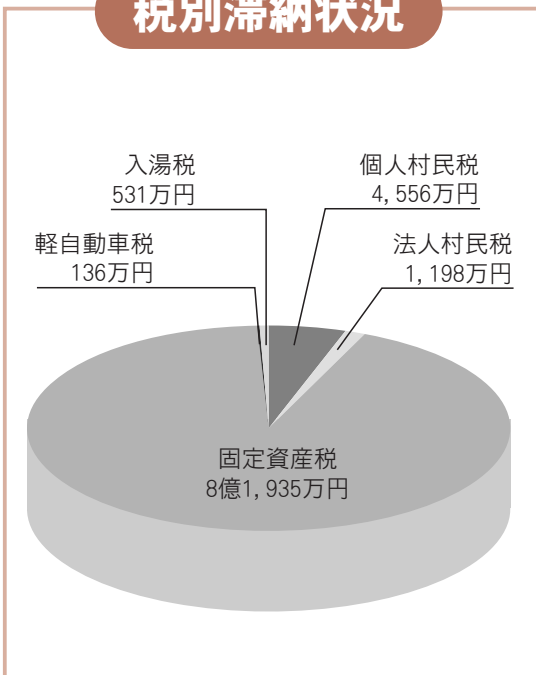
問 外国人の滞納はないですか。

答 昨年から課税対象者が多くなり、少し発生はしてきています。

問 振興公社委託の人件費は、

答 約3500万円です。

税別滞納状況



年度別不納欠損額の推移

※平成3年度より累計額6億6千万円

